平成20年住宅・土地統計調査における千葉県の結果概要

統 計 調 査 室 人口・国勢調査担当 電 話 043-223-2223

住宅・土地統計調査は、住宅及び土地の保有状況その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることを目的とする。昭和23年以来5年ごとに実施しており、平成20年調査は13回目に当たる。

調査は平成 20 年 10 月 1 日現在で実施され、千葉県では、県内 8,817 調査区、約 15 万住戸・世帯を対象に、建物の構造、住宅の建て方、種類、建築時期、床面積、建築面積、敷地面積、設備に関する事項、所有の関係、世帯の種類、世帯構成などを調査した。

第1 住宅と世帯の概況

1 総住宅数と総世帯数の推移

本県の総住宅数(空き家などの居住世帯のない住宅を含む。)は、271万7千7百戸で、東京都、大阪府、神奈川県、愛知県、埼玉県、北海道に次いで全国第7位であり、平成15年に比べると19万1千5百戸、7.6ポイント増加した。

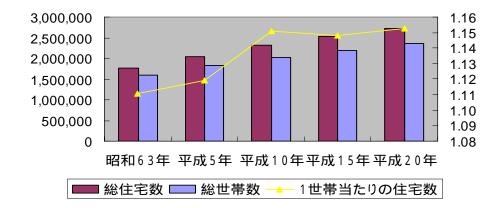
また、本県の総世帯数(住宅及び住宅以外の建物に居住する全ての世帯)は、 235万7千5百世帯で、全国第7位であり、平成15年に比べると15万7千5百世帯、7.2ポ イント増加した。

また、総住宅数が総世帯数を36万2百戸上回り、1世帯当たりの住宅数は、前回調査と同数の1.15戸となりました。(表1-1、図1-1参照)

区分	総住宅数(戸)	総世帯数(世帯)	1 世帯当たり の住宅数
平成 20 年	2,717,700	2,357,500	1.15
平成 15 年	2,526,200	2,200,000	1.15
平成 10 年	2,321,100	2,017,100	1.15
平成5年	2,048,600	1,830,600	1.12
昭和 63 年	1,776,500	1,599,200	1.11

表 1-1 総住宅数、総世帯数及び1世帯当たりの住宅数の推移(千葉県)

図 1-1 総住宅数、総世帯数及び1世帯当たりの住宅数の推移(千葉県)



2 居住世帯の有無

本県の総住宅数271万7千7百戸のうち、居住世帯のある住宅の数は、234万4千5百戸で総住宅数の86.3%を占め、空き家などの居住世帯のない住宅は、37万3千百戸で、総住宅数の13.7%となっています。

平成15年に比べると、居住世帯のある住宅は、15万8千7百戸、7.3ポイント増加し、 居住世帯のない住宅は、3万2千7百戸、9.6ポイント増加しています。

居住世帯のない住宅では、「空き家」が35万5千9百戸であり、総住宅数に占める空き家の割合(空き家率)は13.1%となっており、空き家率の全国順位は34位となっています。(表1-2-1、表1-2-2、図1-2参照)

1X 1 Z 1 /DL									
区分	総数	日介 世 まい	居住世帯なし						
四月	総数居住世帯あり		総数	空き家	空き家以外				
実数(戸)									
平成 20 年	2,717,700	2,344,500	373,100	355,900	17,200				
		(86.3%)	(13.7%)	(13.1%)	(0.6%)				
平成 15 年	2,526,200	2,185,800	340,400	321,900	18,500				
		(86.5%)	(13.5%)	(12.7%)	(0.7%)				
平成 10 年	2,321,100	2,003,700	317,400	294,700	22,700				
		(86.3%)	(13.7%)	(12.7%)	(1.0%)				
平成5年	2,048,600	1,821,200	227,400	203,900	23,500				
		(88.9%)	(11.1%)	(10.0%)	(1.1%)				
昭和 63 年	1,776,500	1,592,000	184,500	159,800	24,700				
		(89.6%)	(10.4%)	(9.0%)	(1.4%)				

表 1-2-1 居住世帯の有無別住宅数の推移(千葉県)

図 1-2 居住世帯の有無別住宅数の推移(千葉県)

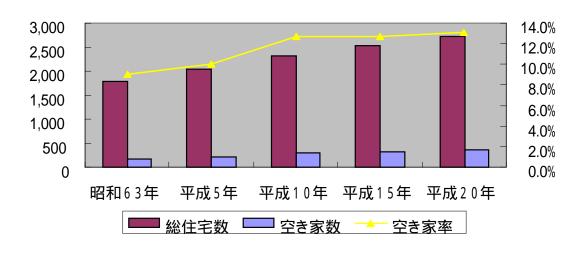


表 1-2-2 都道府県別住宅数、1世帯当たり住宅数、空き家数、空き家率及び空き家率の全国順位(平成 20 年)

都道府	引県	区分	総住宅数(戸)	総世帯数 (世帯)	1 世帯当た り住宅数	空き家数 (戸)	空き家率	空き家率の 全国順位
全		田	57,586,000	49,894,500	1.15	7,567,900	13.1%	-
千	葉	剽	2,717,700	2,357,500	1.15	355,900	13.1%	34

第2 住宅の状況

1 住宅の建て方

本県の居住世帯のある住宅を建て方別にみると、一戸建が127万4千2百戸で、住宅全体の54.3%を占め、次いで共同住宅が102万2千3百戸(同43.6%)、長屋建が4万4千2百戸(同1.9%)、その他が3千8百戸(同0.2%)の順となっているが、平成15年との構成比を比較すると共同住宅の割合(42.3%)から1.3ポイント上昇しているのに対し、一戸建の割合(55.4%)から1.1ポイント減少しています。

また、平成15年との構成比を全国で比較しても共同住宅の割合(40.0%)から1.7 ポ かト上昇しているのに対し、一戸建の割合(56.5%)から1.2ポ かト減少しています。本県の共同住宅の階数をみると、3~5階建ての共同住宅が16.5%、6階建て以上の共同住宅が13.7%となっており、3階建て以上の共同住宅が住宅全体の30.2%となっています。

次に、平成20年の共同住宅の階数を全国でみると、3~5階建ての共同住宅が16.6%、6階建て以上の共同住宅が13.6%となっており、3階建て以上の共同住宅が住宅全体の30.2%となっています。(図2-1、表2-1参照)

図 2-1 住宅の割合別推移(千葉県)

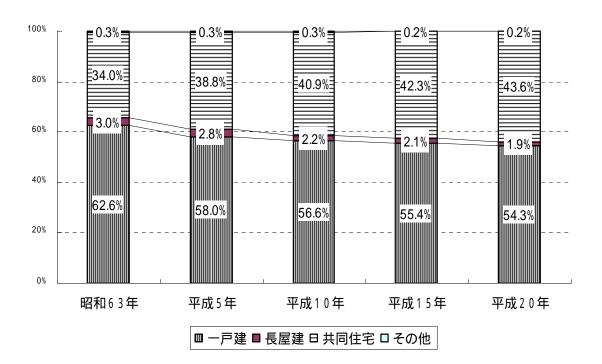


表 2-1 住宅の建て方別住宅数の推移(千葉県)

実数(戸)

区分 総数 一戸	 一戸建 長屋建		共同住宅					その他	
		广连 茂崖连 	総数	1階建	2 階建	3~5階建	6 階建以上		
平成 20 年	2,344,500	1,274,200	44,200	1,022,300	100	312,600	387,300	322,300	3,800
平成 15 年	2,185,800	1,211,400	46,100	924,500	200	292,600	379,900	251,800	3,900
平成 10 年	2,003,700	1,133,900	43,400	819,700	400	274,900	360,400	184,100	6,600
平成 5 年	1,821,200	1,057,100	51,300	707,400	300	256,700	319,300	131,100	5,400
昭和 63 年	1,592,000	997,100	48,300	541,500	300	180,500	266,500	94,200	5,100

2 住宅の構造

本県の居住世帯のある住宅を構造別にみると、鉄筋・鉄骨コンクリート造などの 非木造が93万6千3百戸で住宅全体の39.9%、防火木造が83万8千9百戸(同5.8%)、 木造が56万9千3百戸(同24.3%)となっています。

平成15年との構成比を比較すると、防火木造では4.1ポイント、鉄筋・鉄骨コンクリート造などの非木造が2.2ポイント上昇したが、木造は6.3ポイントの減少となっています。また、全国の平成15年の構成比を比較すると、鉄筋・鉄骨コンクリート造などの非木造が2.5ポイント、防火木造では2.1ポイント上昇したが、木造は4.6ポイントの減少となっています。(図2-2、表2-2参照)

図 2-2 構造別住宅数の推移(千葉県)

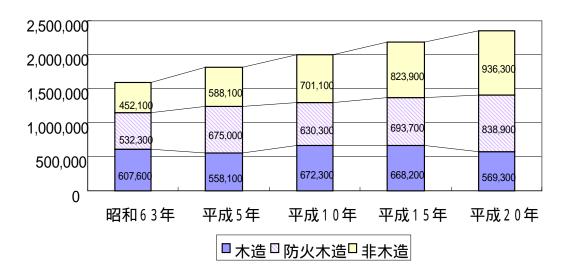


表 2-2 構造別住宅数の推移(千葉県)

実数(戸)

区分	総数 木造		防火木造	非木造
平成 20 年	2,344,500	569,300	838,900	936,300
平成 15 年	2,185,800	668,200	693,700	823,900
平成 10 年	2,003,700	672,300	630,300	701,100
平成 5 年	1,821,200	558,100	675,000	588,100
昭和 63 年	1,592,000	607,600	532,300	452,100

3 建築の時期

居住世帯のある住宅を建築の時期別にみると、「昭和25年以前」に建築された住 宅は4万6千7百戸で、「昭和26年以降」建築された住宅が全体の98%を占めている。

また、新耐震基準が施行された昭和56年以降に建築された住宅は148万2千戸で全 体の63.2%を占めている。(表2-3参照)

表 2-3 建築の時期別建て方別住宅数の推移(千葉県)

実数(戸)

区分	総数 2)	一戸建	長屋建	共同住宅
総数 1)	2,344,500	1,274,200(54.3%)	44,200(1.9%)	1,022,300(43.6%)
昭 和 25 年 以 前	46,700	44,900(96.1%)	500(1.1%)	1,200 (2.6%)
昭和 26 年 ~ 35 年	28,400	24,400(85.9%)	400(1.4%)	3,400(12.0%)
昭和 36 年 ~ 45 年	156,900	91,400(58.3%)	4,600(2.9%)	60,600(38.6%)
昭和 46 年 ~ 55 年	432,400	261,100(60.4%)	9,900(2.3%)	160,800(37.2%)
昭和 56 年 ~ 平成 2 年	481,300	282,000(58.6%)	7,800(1.6%)	190,700(39.6%)
平成 3年 ~ 7年	270,600	134,700(49.8%)	3,700(1.4%)	131,900(48.7%)
平成 8 年 ~ 12 年	297,600	153,300(51.5%)	3,400(1.1%)	140,700(47.3%)
平成 13 年 ~ 15 年	176,800	88,900(50.3%)	1,900(1.1%)	86,000(48.6%)
平 成 16 年	52,100	30,600(58.7%)	1,100(2.1%)	20,300(39.0%)
平 成 17 年	59,900	30,000(50.1%)	1,000(1.7%)	28,900(48.2%)
平 成 18 年	52,800	29,800(56.4%)	1,200(2.3%)	21,800(41.3%)
平 成 19 年	58,200	24,000(41.2%)	600(1.0%)	33,600(57.7%)
平成 20 年 1 月 ~ 9 月	32,700	14,300(43.7%)	300(0.9%)	18,100(55.4%)

(注1)建築時期不詳を含む。 (注2)その他を含む。

4 住宅の所有

本県の居住世帯のある住宅を所有関係別にみると、持ち家が151万9百戸で、居住 世帯のある住宅全体に占める割合は64.4%で、平成15年に比べると、0.1ポイント上昇 しています。

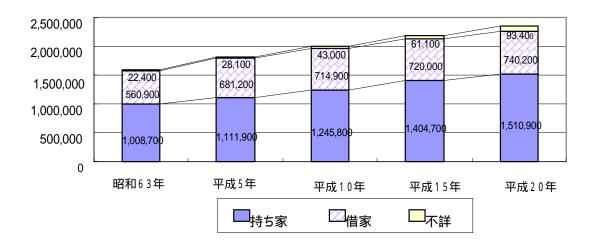
また、借家は74万2百戸で、居住世帯のある住宅全体に占める割合は31.6%で、平 成15年に比べると、1.3ポイント減少しています。(表2-4、図2-4参照)

表 2-4 住宅の所有関係推移(千葉県)

実数(戸)

区分	住宅数	持ち家	借家	不詳
平成 20 年	2,344,500	1,510,900	740,200	93,400
平成 15 年	2,185,800	1,404,700	720,000	61,100
平成 10 年	2,003,700	1,245,800	714,900	43,000
平成 5 年	1,821,200	1,111,900	681,200	28,100
昭和 63 年	1,592,000	1,008,700	560,900	22,400

図 2-4 住宅の所有関係推移(千葉県)



5 住宅の規模

居住専用に建築された「専用住宅」について、1住宅当たりの居住室数、居住室の畳数及び延べ面積により住宅の規模をみると、1住宅当たりの居住室数は 4.49 室、居住室の畳数は31.9畳、延べ面積は89.42㎡となった。

平成15年調査に比べて、1住宅当たりの居住室数は0.06室減少したが、居住室の 畳数は0.3畳、延べ面積は0.57㎡増加している。

(図2-5、表2-5参照)

図 2-5 専用住宅 1 住宅当たり延べ面積の推移 (千葉県)

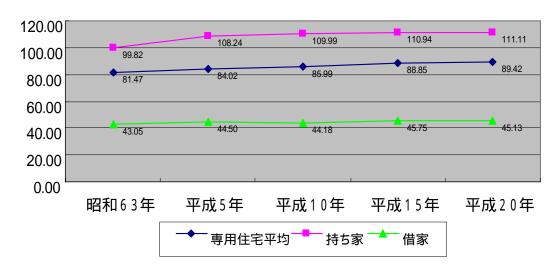


表 2-5 1 住宅当たりの居住室数、畳数、延べ面積 (千葉県)

調査年	区分	1 住宅当たり居 住室数	1 住宅当たり居住 室の畳数	1 住宅当たり延べ 面積
	専用住宅平均	4.49	31.90	89.42
平成 20 年	持ち家	5.35	38.88	111.11
	借家	2.74	17.65	45.13
	専用住宅平均	4.55	31.60	88.85
平成 15 年	持ち家	5.43	38.73	110.94
	借家	2.83	17.68	45.75
	専用住宅平均	4.53	30.44	85.99
平成 10 年	持ち家	5.51	38.10	109.99
	借家	2.84	17.09	44.18
	専用住宅平均	4.55	29.92	84.02
平成5年	持ち家	5.57	37.96	108.24
	借家	2.89	16.80	44.50
	専用住宅平均	4.56	29.10	81.47
昭和 63 年	持ち家	5.47	36.17	99.82
	借家	2.92	16.38	43.05

6 高齢者等のための設備

高齢者等に配慮した設備がある居住者のための住宅の割合は、112 万 8 千 7 百戸で 48.1%となっている。

設備別では、住宅内に手すりがある住宅が 36.4%で一番高くなっている。次に、またぎやすい高さの浴槽がある住宅が 24.9%、段差のない屋内が 21.4%、廊下などの車椅子での通行可能が 15.9%、道路から玄関までの車椅子で通行可能な住宅が 11.6%となっている。(表 2-6 参照)

表 2-6 高齢者等のための設備がある住宅の割合 (千葉県 平成 20年)

項目	住宅数	割合
住宅総数	2,344,500	100.0%
高齢者等のための設備がある住宅(全体)	1,128,700	48.1%
手すりがある(全体)	853,600	36.4%
玄関	177,300	20.8%
トイレ	327,800	38.4%
浴室	473,200	55.4%
脱衣所	49,400	5.8%
廊下	79,000	9.3%
階段	566,000	66.3%
居住室	18,900	2.2%
またぎやすい高さの浴槽	583,700	24.9%
廊下などが車椅子で通行可能	372,200	15.9%
段差のない屋内	501,000	21.4%
道路から玄関まで車椅子で通行可能	272,800	11.6%

(注)住宅総数には、不詳の数も含まれている。複数回答のため、内訳と合計とは必ずしも一致しない。

第3 住宅・土地の所有状況

本県の平成20年10月1日現在の世帯における住宅と土地の所有状況をみると、住宅を所有している世帯が130万5千世帯で、世帯全体の55%(全国は52.9%)、土地を所有している世帯が126万9千世帯で同53.5%(全国は50.9%)となっており、いずれも全国を上回っています。(表3、図3参照)

表3 住宅・土地の所有状況別世帯数(平成20年 千葉県・全国)

		住宅を所有している世帯			土地を所有している世帯				
区分	総数 1)	総数 2)	現住居 を所有 している世帯	現は住所のをして世帯	総数 2)	現住居の敷有して出る世帯	現住居の 敷地以外 の土地を 所有して いる世帯	現住居の敷地以外の宅地などを所有している世帯	いずれ も所有 してい ない世 帯
実数 (千世帯)									
千葉県	2,371	1,305	1,280	166	1,269	1,236	325	211	761
全国	50,043	26,467	25,829	3,677	25,450	24,517	7,898	4,808	18,051
割合(%)									
千葉県	100%	55.0%	54.0%	7.0%	53.5%	52.1%	13.7%	8.9%	32.1%
全国	100%	52.9%	51.6%	7.3%	50.9%	49.0%	15.8%	9.6%	36.1%

- (注1) 複数回答であるため、内訳の合計とは必ずしも一致しない。
- (注2) 現住居の所有の有無「不詳」及び現住居の敷地の所有の有無「不詳」を含む。
- (注3) 現住居以外の住宅の所有の有無「不詳」及び現住居以外の土地の所有の有無「不詳」を含む。

図3 住宅・土地の所有状況別世帯数の割合(平成20年 千葉県・全国)

